

## 中野市行政改革推進委員会 会議録

|     |                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 令和元年11月27日(水) 13:57～15:47                                                                                                                                                                                       |
| 会 場 | 市役所本庁舎 会議室41.42                                                                                                                                                                                                 |
| 出席者 | <p>【委員】<br/> 小林治男、工藤二六子、黒崎春美、後藤治志、東英司、池田眞貴子、<br/> 小林日出夫、野口暢子、市村義明、中村幹夫、富田貴江、武田隆子</p> <p>【市】<br/> 副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長<br/> 建設水道部長、消防部長、教育次長、議会事務局長</p> <p>【事務局】<br/> 政策情報課長、副参事、行政管理係長、堀米副主幹</p> |
| 欠席者 | 平林次光委員<br>会計管理者                                                                                                                                                                                                 |
| 次第  | 1 開会（13名中12名出席、過半数の出席者有りのため会議成立）<br><br>2 あいさつ<br><br>3 協議事項<br>(1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度中間点検について<br><br>4 その他<br><br>5 閉会                                                                                    |
| 資料  | 資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿<br>資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度中間点検<br>資料3 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方                                                                                                               |

## 1 開会（総務部長）

## 2 あいさつ（小林会長、副市長）

## 3 協議事項（議長：小林会長）

### (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度中間点検について

#### 【事務局】

（資料1～3を政策情報課長より説明）

資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿

資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度中間点検

資料3 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方

#### 質問、意見等

##### 【委員】

特別滞納整理とは具体的にどのようなことをやっているのか。

##### 【総務部長】

市税、国民健康保険税の滞納の圧縮、後期高齢者、介護保険料も含んでいる。実施の時期は12月、この時期に関しては全庁にわたり主査以上の職員が滞納者への電話の催告や個別訪問を実施している。市税、国民健康保険税に関しては、今年度160人ほど予定している。訪問対象未納者については滞納額が少額の方を中心に納付のお願いをする。大口になる前に、また常習化しないよう自主納付をお願いするというような取り組みである。

##### 【委員】

滞納整理をやる前とやった後の収納率はどうか。

##### 【総務部長】

昨年の実績では、自主納付が21.8%、分割納付など相談をしての納付が25.1%、それも含めて接触後に納付いただいたのが21.4%、その期間に接触できなかったというのも25%ほどある。約束をしたが納付していただけなかったというのが6%ほどという状況である。

##### 【委員】

最低いくら集めるというようなノルマはあるのか。

【総務部長】

出来るだけ完済力のある方には公平性の観点からも納めていただくということで努力はしていきたい。目標としてはこれまで以上を目標に毎年取り組んでいるところである。

【委員】

長野県滞納整理機構と県総合県税事務所の違いは。

【総務部長】

市町村では困難な大口の案件を中心に、共同事務処理ということで県の滞納整理機構ができたため、例年10件ほど依頼している。市県民税ということで県税と一緒に取り組むということで県の総合県税事務所にも困難案件を中心に滞納整理をお願いしている。

【委員】

大口滞納案件等の実績はどうか。

【総務部長】

H30年度の実績でいうと、長野県滞納整理機構への移管件数が10件でそのうち国保が8件、移管した滞納額については29,126,004円、納付額は2,932,004円ということである。県総合県税事務所への引継ぎ案件については、8件のうち国保が4件で引継ぎをした滞納額は3,376,004円、納付額は689,000円であった。

【委員】

サウンディングの市場調査について教えていただきたい。

【事務局】

サウンディング型市場調査については、民間企業に参加いただけるかどうかという市場性について対話を通じて市が情報をいただくという趣旨のものである。

サウンディングの実施状況については、今後中間報告という形で議会に報告をしていく予定であり、取りまとめの最中ということでご理解をいただきたい。

【委員】

保育園の関係で、今後のビジョンやプランがあれば教えてほしい。

【子ども部長】

保育所整備については、整備計画を策定しており順次改訂や見直しを進めていく。

資料2の31ページ「保育所の整備」について、令和元年度 of 取組実績の供用開始予定

について、建物については今年度に作り、園庭は今ある保育園を取り壊して、来年度の秋ごろまでに整備をする予定のため、供用開始のところに一部供用開始ということで追加をお願いしたい。

**【委員】**

松川保育園について、古く使いにくいと、一部改築よりも全面改築ということで検討をお願いしたい。

**【委員】**

「市民満足度調査の推進」について、どちらかと言えば不満と不満の内容について教えてもらいたい。

**【総務部長】**

満足度が低かった項目について、5つ挙げさせてもらうが、働きたい人が仕事につきやすい環境が整っている、商工業の経営が安定し地域経済が発展している、観光交流産業のブランドづくりができている、賑わいと活力あるまちづくりができている、鉄道・バス・タクシーなど公共交通が使い易くなっているといった項目についての満足度が低くなっている。重要度についても聞いており、来年度の予算に反映するという事で取り組んでいく。市民満足度を活用して次の施策に活用していきたいと考えている。

**【委員】**

今日、街なかを歩いてみたが、ほとんど人がいない。職員も机上での事務だけでなく、空いている時間でいいので歩いてほしい。その中で具体的に来年の予算に取り入れて活かしてもらいたい。

**【委員】**

水道料金はどのくらい滞納したらどのくらい水が止められ、水を止めたことによって収納率は上がるのか。

**【建設水道部長】**

給水停止については、毎月行っている。1.2回という方についてはやっていないが、水を止めることによって始めて払っていただける方もいるため、そのようなやり方をしている。水道料金は2か月に1回の支払いになるため、谷間のところで支払っていただくように分納誓約書を出してもらっているが、それでも守っていただけない方にはやむを得ず給水停止にしている。

【委員】

「一般職非常勤職員（会計年度任用職員）の適正配置」について、非常勤職員の登用の方法が変わるということが来年の予算に大きな影響を与え、各自治体の財政を圧迫することになってくるというのがどこも同じかと思うが、中野市の規模の自治体で一般職非常勤職員473人というのは常勤職員の人数に比べて割合はどうか。

【総務部長】

非常勤職員の中には、嘱託でフルタイムの方や、臨時職員で7時間の方などいろんな職種の方がいるが、単純にそれを1人として考えると現在473人、正規職員は今年の4月1日現在で423人、というような現状の割合である。

【委員】

50%以上の方が一般職非常勤職員となっており、この方々にボーナスが発生することになってくるため、ボーナスが発生する嘱託職員の方は正規職員に比べてどのくらいの差が出てくるかを考えてみると、先ほど生産性の割合がでてきたが、今、嘱託職員である方が正規職員になる試験を受けれるような制度が設けられるとモチベーションが高まり生産性が高まるということにつながるのではないか。そんなにお金が変わらないのであればだんだん正規職員に登用していくという制度も設けられた方が良いのではないか、それは税収が増えるということにもつながるし中野市全体の活力にもつながると思う。少し割合が高いのではないかと感じる。

【総務部長】

来年度から会計年度任用職員制度という新たな制度が始まるが、現状と比べると非常勤職員の給与は上がるのは間違いない。臨時職員に関して、課から部に配属させ効率的な運用に取り組んできている。また今後とも職員数は、必要最小限としていかななくてはならないと思っている。モチベーションの関係では、特に専門職に関しては社会人枠ということで、正規職員の募集もしている。保育士の非常勤の方もトライをしていただく機会を増やすとか年齢枠を上げるなどの取り組みもしている。その辺のバランスを見ながら取り組んでいきたいと思っている。

【委員】

要望として、新しい庁舎になったが、職員が窓口側を向いていないため、窓口に来ても気づいてもらえない。良い案を考えてもらいたい。

【総務部長】

ベルを置いている課もありますが、人によってはベルを鳴らすと目立ってしまうという方もいらっしゃる。基本的には、常時窓口として対応する課は外に向かって座ってい

るため対応できているが、例えば3階や4階になると常に外に向かって仕事をしていない。職員には気が付けばすぐに対応するようにと常々言っている。良い方法ということだが、色々とところでもどのような対応をしているか研究させてもらい良い方法が見つかれば対応していきたい。

#### **4 その他**

##### **【事務局】**

今後のスケジュールについて

第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シートについて、本日いただき意見等を踏まえ、事務局で調整を図ったうえで、市公式ホームページにて公表していく。

今回の推進委員会について、令和2年度集中改革プランの目標設定を3月頃に開催する予定。

#### **市政運営等に対する質問**

##### **【委員】**

プレミアム商品券について、利用される方が少ないと聞いているが、どの程度申し込まれているか、また、利用率はどうか。

##### **【健康福祉部長】**

11月1日現在、低所得者から申請をいただいて引換券を送付した方については31.1%、実際にそのうちの47.3%購入されている。

##### **【子ども部長】**

子育て世帯の対象者は約1,000人、そのうち昨日現在で46.0%の方が引き換えをされている。

##### **【委員】**

各団体の補助金について、具体的にどのような団体がもらえるのか。

##### **【総務部長】**

補助金に関しては、それぞれの団体の設置目的や広域性などを加味して補助対象になるか決定していく。基本的には定額補助ではなく事業費補助ということで見直しをさせていただいた。

##### **【委員】**

市の施設を借りたいときの減免申請や行政バスの利用について、どのような団体が減免になったり借りることが出来るのか。

【総務部長】

団体の施設の減免については、市が主催をする場合や自治会が、地域振興目的で使用する場合、障がいや70歳以上の高齢の方などは減免や減額の対象となる。

行政バスについては、市の業務の中で活用するということで使用を認めている。

【委員】

今年の4月から南部給食センターが民営化されたが、どのようなメリットがあったか。

【教育次長】

委託は調理業務のみである。調理をされている皆さんは市の臨時や嘱託の身分から委託先の会社の従業員ということで転籍をされた方がほとんどであり、その皆さんについては自主的にあるいは責任をもって調理にあたっていたというメリットがある。また、委託したことにより市の職員は人事管理がなくなったため、本来の職務に力を注ぐことができたということがメリットと考えている。

【委員】

今回台風19号で災害にあわれて、2件ほど引っ越しをされる方もいる。市で空き家住宅など、中野市に住み続けてもらうような方策はないか。

【経済部長】

営業推進課には、空き家情報がありすぐに住めるような家を販売してもいいという方が登録されている。自分が被災したところに近いかどうかは台帳を見ていただいて判断していただくことになる。今回浸水した方が住めるかは持ち主が販売を目的に登録しており、貸すということを前提にしていなかったため、市営住宅等へ希望された方は移動していただいた状況である。購入を希望されている方については、営業推進課へ問合せをしてもらいたい。

【委員】

小学校跡地利用について、議会に報告するのが必要だということだが、中野市議会の12月議会の内容をみると中心的なテーマにはなっていないため、我々が知ることができるのは、3月議会になるということでしょうか。

【事務局】

議会に報告と申し上げたのは、定例会の議案として挙げているということではなく、議員の皆さんに報告する場があるためそちらに報告させてもらうという意味である。定例会の初日に議会全員協議会というのがありそちらで報告させていただく予定である。

【総務部長】

小学校の利活用の関係で、市民の皆様からのアイデア等については市のホームページや広報誌で情報を提供していきたいと考えている。

【委員】

アイデアやサウンディングの件数は何件ほどあったのか。

【総務部長】

市民からのアイデア募集の関係については、32名の方から50件ほどのアイデアをいただいた。サウンディングについては4社の事業者だが、そのうちの1つは長野県立大学の学生のアイデアということである。

【委員】

防災拠点の周知など災害に関してどのように考えているか。

【総務部長】

避難所について、すべての避難所を一斉に開けるということはせず順次増やしていくという体制をとったが、市民からすると認知が乏しかったという反省点がある。そのようなことを1つとらえても今回教訓として考えていかなくてはいけないことが多々あった。今回のことをまとめて次に活かしていくということで臨んでいきたい。

【委員】

火の見を解体するという話が出ているようだが、普段のサイレンは聞きなれているため、高いところに鐘など取り付けてもらうなど検討してもらいたい。

【消防部長】

火の見については区と相談をし、撤去の希望があれば撤去をするという方向である。代替えとして、大音量でサイレンを鳴らす、消防自動車の形式材搬送車を多く導入したため広報で回る、今回の災害では1件1件訪問をして避難を即することが一番有効だったと思う。その辺をもっと充実させて避難を即すという形で展開していきたい。

【委員】

1件1件訪問していただいたのはありがたかったが、半鐘なども有効であった。1つの方法だけでなくいろんな方法を考えて対応してほしい。また今回の台風を教訓にして臨機応変に対応しプランを早急にだしていただきたい。

【消防部長】

消防としても２段３段といった形で方法を考えていきたい。

【委員】

災害の情報が全く伝わってこなかった。また、一人ひとりが災害に関して自覚を持つことを知らしめる必要があるため、なるべく早めに市の方でも広報等していただきたい。

【総務部長】

今回避難勧告を出したのは夜間瀬川の関係であったため、避難所としてなるべく夜間瀬川から離れたところということで平岡小学校を避難所として開設をした。避難所の開設の場所についても今後検証しなければならないし、また市民に対しての啓発活動について力を入れていかなければならないと思っている。

【委員】

中野市の食糧費の公費支出についての基本的な考え方はあるのか。

【総務部長】

補助金の対象外経費として飲食費というのがある。例えば懇親会費や外部講師の昼食代を除いての飲食費などは対象外であるため、食糧費については認められていない。また、市が公費で出す食糧費については、必要最小限という事の中で対応している。

【委員】

県で食糧費の見直しが検討されているということだが中野市はどうか。

【総務部長】

県は地元説明会等で懇親会がある場合、自費で参加するのはどうかということでの見直しだが、中野市では市長の立場として参加するのであれば必要最小限ということで公費負担をしていると思うが、職員の場合は負担していない。

5 閉会 （小林委員長）

終了 15時47分